

常盤新聞

定部金貳錢 廣告五錢 印刷費五錢

日刊 發行所 常盤新聞社 電話六三〇番

本報同番地（電話六三〇番）

刊夕日九十月九

常盤文藝

萍生句帳 (一)

- 扇置
- 捨扇引きさく吾子をせめ
- もせず 孤舟
- 秋風をかこちて扇捨てに
- 松堂
- その裏に島の歌あり捨扇
- 守穂
- 蚊の體はさまりありぬ捨
- 二葉
- 蚊の聲も扇置く夜となり
- 同
- にけり
- 忘れ來し扇に悔いぬ秋暑
- 晚霞
- 控所に忘れ溜まりし扇か
- 同
- 扇置いて學生達も歸京す
- 閑月
- 露すこし軒にある夜や捨
- 曉美
- 灯にしたしむ宵や捨扇
- 同
- 樂天の名畫もあせて扇置
- 天仙
- 秋扇に相見れば涙誘た
- 何鳴
- 秋扇ひらかず膝にもてあ
- 同

モダンな若人向
スマートな紳士向
東帽製 フロー 七圓八〇
イタリー製ベローア

七、八〇
ウール 一、五〇
ヨリ

平四（電一四〇）
ツルヤ

原齒科醫院

平町土橋通り電話三一三番

貴金屬 時計 眼鏡 針先各種

高級蓄音器特約店

金光堂時計店

平町五丁目（電話七三六）

時計蓄音器修理は 早く良く

蒲鉾製造開始

夏季の氷水販賣中は各位の後援により豫期以上の盛況を御厚禮申上ます、今般例年の通り蒲鉾製造販賣を開始致しました一層御引立御聲援を御願申上ます。

かまほこ製造 折詰額 平町一丁目 仕出し 御惣菜用 さつま揚 吉原揚

藤寅 電話一四一四番

和久井屋

秋のシーズンです 「御座敷」「御書齋」の御道具取揃ました

本機立 本箱 本箱 本箱 本箱 本箱

大鉢 脇 脇 脇 脇 脇

政治漫談 (七)

衆議院議員 岡田忠彦

此くの如く勇往邁進の空氣が國內に充ち、政治家が其の空氣を利用し、また其空氣を鼓舞して國家百年のために國家の政治を行ふことが今日の急務である。

○

思ふに日露戦役は我が國民の愛國心を最高潮に達せしめたその然る所以のものは明治大帝の御稜威に由るはもとよりであるが、その左右の重臣の輔翼宜しきを得て國民が等しく我國及び氏

貸家案内

仲間町勤人向金五圓五十錢
御町全金拾圓
舊城跡全金七圓
全全金八圓
白銀町全金八圓五十錢
全商店向金貳拾圓
全料理店向金八圓
全旅館向金八圓
五丁目勤人向金五圓

加藤營業所
白銀町（電話三三三番）

族の一大使命を自覺してゐたからで、我國をして世界一等國の班に列せしめることが日本の隅々に至るまで老若男女の別なく全國民的熱望であつたからである。幸にして戦は勝つたが、國民は顧みてその目標を失つた、加ふるに工業の發達社會象の變化が之れに伴ひ旁々士氣衰へて今日に至つたのである。吾人は先づ大和民族の使命に顧みて、少くも東洋における文化の中心平和の中軸たる地位を獲得したいのである。之れについて第一には外交上におけるところの東洋政策を確立したいのである。借問す

今日の畫ヶ關、所謂幣原外交にその信念氣魄があるか余は何の幸か、故後藤伯爵の眷顧を蒙つたものであるが、近來の露支の關係を他を顧みて今更らるの如く故伯を思ふて欽慕の情を深からしむるものがある。同伯は嘗て余に語つて「日本は如何にしても支那を把握してゐなければならぬ、之れをなすが爲めには日露の關係を緊密にして其勢を以て支那と結ぶことにしなければ可いぬ。先づ露國と相違び進んで獨逸とも相提携して此の三者が確然として立て居れば歐洲の平和も確立することが出来る

ムラグロフ映上りよ日十二

合結のと威權高最の畫映國英と粹の畫映本日

畫映成完演主に併・督監氏ルゼエウ・ーエムエ

演共ントブコイエフ演助・作力社ンモーゴ國英

認流漂ノソロ

化畫映のり語物の見必讀必女少年少る誘に界世全

映上再別特念記退引界劇郎五部河星巨

トスヤキータスルーオ外子米井酒・一香木葛・演助

會方場身灰水清

四電館平一テ生學日土金料 映上部全卷六十二・篇三全 四六 館平一テ生學日土金料 映上部全卷六十二・篇三全 四六 館平一テ生學日土金料 映上部全卷六十二・篇三全

北海道産の新しい豆が入りました

大豆、砂糖、其他諸雜貨類

（よい品を安く勉強致します何卒御引立の程を）

平紺屋町（炭屋旅館前）

田巻屋商店

季節向營業開始

親子天井

なべやきうどん

平二丁目みたいや 電話三一九番

繼父のたねを宿し 處置に窮して壓殺

死体は裏の茶畑に けふ嬰兒殺人捕る

石城郡入遠野村緑川キミ(一)は本日嬰兒殺人罪として植田警察署の手に逮捕され平區裁判所から判檢事出張した、同人は繼父のたねを宿し此程女兒を分婉したが處置に窮して是れを壓殺し裏の茶畑に埋めて置いたのが今回發覺したのであると

御安産祈願

赤井嶽にて

石城郡赤井村關御井嶽樂師にては二神將奉納一週年に就き来る廿二三の兩日に亘り記念祭を執行し皇后陛下御安産の祈願を爲し大護摩の大修行を爲すと

石城郡内の 種財産整理

平稅務署繁忙

石城郡内の種財産整理買賣拂ひについては岡部前平稅務署長の後を繼ぎ新任石川署長も鋭意署員を督勵し大馬力をかけ大々的に實行しつゝあるが同署管内にだけ二百四十町三反八畝二十五歩の價格約十萬圓に達し各町村に亘り小さいものが筆數も相當多數に上り整理に當つては係員も四苦八苦の思ひの上これを利用して悪ブローカーが現出し財

縣大會出場の 平町選士

明廿日平郡線

既報若松市に開催される縣聯合青年團體育大會出場の平町選士は郡内他町村の選士と共に廿日午前八時五十分平郡線にて出發する筈にて石城郡聯合青年團よりは西山副團長、平町青年團よりは多田井副團長外二名が附添として同行する由

鮫川鮭魚

十四日から

石城郡鮫川に於ける鮭魚は二回の増水で河底流失河口深嶺等の爲め遅れ十四日から開始されたがムリ網取廻し網等十五日はさながら戦場の如く漁夫總出にて働いてゐたがいづれも十數匹づゝの豊漁で水揚げ相場三十割一尾一貫の百外以上活氣横溢してゐる

家庭から

田人村の緊縮

石城郡田人村では首行豫算の緊縮をなす前に先づ一般村民に緊縮の趣旨を徹底せ

しむる事が先決と今回各字毎に一名宛の實行委員を擧げ家事經濟の緊縮を計る事に決定し愈々来る廿日より左記方法に依り實施する事となつた

交通の妨害をせねば 營業の繼續差支なし

魚市場問題の解決

平町に於ける魚市場の問題に關し宍戸屋松崎佐平外三名は市場に對抗し市場の手數料一割に對し七分を以つて

手軽く 取引に應ず

取引に應ず

爲め市場側では當て込みの營業振りを見る事が出来ないの爲め兩者間に紛糾を重ね此の捲き添えを食つた縣廳内務部は民業側に對し營業停止に比しき高壓的な通牒を發し反つて民業側を憤慨せしめ反駁的の答辯書提出となり縣廳は徒らに威信を失墜せしのみで其儘となつてゐたが新井

平署長 は是れが解

決策として民業を壓迫する

が如きは甚だ香しくないとの見地から本日松崎氏外三



家庭欄

羊肉の臭氣 して脱ける

(上)

羊の肉には榮養分が非常に

短刀を持歩

物騒な按摩

平署で説諭

石城郡内郷村大字御厩字上宿按摩業竹内定次郎(一)は盲目のくせに氣が荒く喧嘩早い男で常に短刀を懐中にかくし持つて居たが去る十四日夜も同業の坂本伊三郎に喧嘩を吹つけ散々殴りつけた爲め此程マツサージ會代表者久松清吉が平署に説諭願出た爲め本日鯨岡警

看護婦 の求めに 平看護婦會

の求めに應ず

に角その臭氣をなくすれば柔らかでおいしい羊肉の特徴を發揮されます、すなはち先づ最初焼いて用ゐるが良いのであります、又調理の際香料を用ひる事、たとへば生姜とか肉桂子丁或はネギ、月桂樹の葉、セージタイム等を用ひますと臭氣が消えるものであります

多く、病人とか子供とかには最も良い食品なのであります、羊の肉の特徴として一種特有の臭氣があるために食へる事を好まない人がありますが、これは適當な調理法によつておしく食へられるのであります。尤も却てその臭氣を喜ぶ人もあるにはありますが、兎

炭礦方面に對する 商品の販出口開拓

成功を収めた平商工會が

新會員の募集開始

平町商工業界の指導機關として今春平町の小壯實業家山崎清三、諸橋守次、關内正一、三森虎雄、その他を網羅して成立された平町商工會は將來大平市實現の暁は平商業會議所たらしむべく盛んに活動を續けてゐるが創立後未だ日も淺いため現在の處專業の見るべきものも無いが炭礦方面に對する平町商品の販出口開拓は可成の成功を収め

重大な 影響を齎す

ことなるので各方面から

注目されてゐる尙同會では飛躍の前提として會の組織内容の充實を計る爲め平町商工業界の中堅處を悉く網羅する事となり新會員の募集を開始した

獨唱と音樂 平町田

町アカンヤ藝術社主催にて

金指輪窃盜

其他にも餘罪

東京府下北豊島郡岩淵町字

過般の暴風雨に 案外被害は少い

柿は二割の收穫減だが

梨は殆んど影響がない

過般の暴風雨被害に就いて石城郡農會では全郡下に亘つて精細な調査を進めてゐ

た、現在までに調査した處に依ると稱すは僅に玉川村小名濱

の一部が水をカブつたのみでその他の被害は皆無秋作の蔬菜は播種済みの大根、白菜、玉菜等に可成の被害はあるが今後の天候が順調であれば恢復は容易である被害の最も多かつたのは果樹類で、郡南上遠野、入遠野、田人方部名産のみならず柿は落下したのも募集

募集

文藝其他投稿

を募集します

の多く半年より二割の收穫減を豫想されてゐる目下出盛期に入つてゐるだけに梨の被害は案外に少く落下しても販賣が出来るので當業者の懐合には殆んど影響をしなかつた

五錢の高値

需要期を前に

濱三郡木炭同業組合に於いて去る一月以來八月迄の製炭數は百十二萬三千九百五十俵で昨年同期に比して約一割の増加で本年末迄には二百萬俵を突破する模様である炭價は四貫五百外入雜九上九十五錢、雜割上七十五錢で各俵共前月に比し五錢の高値で需要期を前にして一般に活氣を添へて來た

明日の 天氣

北西の風 晴時々曇

看護婦 の求めに 平看護婦會

の求めに應ず

平町南町
平看護婦會
電話三〇七番